

家庭教育だより

はつらつ

2021年 3月発行 山口市教育委員会
社会教育課 TEL: (083) 934 - 2865

社会教育課では令和2年度、家庭教育講座を10回開催しました。各回の講座の詳細は、家庭教育応援サイトで紹介しています。



知っちゃう?
参加しちゃう?



注目!

山口市家庭教育応援サイト 『親も子も一歩ずつ』をご紹介します!



山口市教育委員会社会教育課では、保護者の皆様方の家庭教育を応援する取組として、個別相談・家庭教育講座・保護者カフェの3つの取組をしております。

このウェブサイトでは、これらの取組に加え、保護者の皆様に役立ててほしい家庭教育のヒントや、小中学校で実施しているこれまでの講座内容に関する記事等を掲載しております。

家庭教育に関する情報が一目で見られるサイトとなっております。ぜひ御覧ください。

山口市家庭教育応援
サイトQRコード



掲載内容

■家庭教育支援チームとは

市内の家庭教育を応援する活動を行うチームの紹介をしています。

■個別相談

▶あなたの身近な相談者

保護者の方、お一人おひとりに寄り添い、子育てに関するお困りごとについて、家庭教育アドバイザーと一緒に考える個別相談申込先のご案内を掲載しています。

■家庭教育講座「子そだてマナビィ」

市主催の家庭教育講座「子そだてマナビィ」の予定、募集チラシ、講座申込フォーム、これまで開催した講座の報告などを掲載しています。

■保護者カフェ

今後市内小中学校で実施される保護者カフェ情報を掲載する予定です。

■家庭教育のヒント

- ▶大切にしたい4つの視点
- ▶「やさしさ」と「厳しさ」
- ▶ずっと忘れないで欲しいこと
- ▶子どもを伸ばす工夫①
- ▶子どもを伸ばす工夫② etc.

山口市家庭教育支援チームから、保護者の皆様に向けて、家庭教育に役立つヒントやちょっとしたアドバイスについて掲載しています。今後、その内容について、さらに充実していく予定です。

■家庭教育だより「はつらつ」

年3回発行している家庭教育だより「はつらつ」のバックナンバーを御覧いただけます。

どうぞお気軽にご相談ください!

子育てやしつけの悩みに寄り添い、親子の成長を応援します。個別相談の電話受付はこちらです。

家庭教育訪問支援ダイヤル

☎083-928-3232

家庭教育講座 子そだてマナビィ 実施報告

10月から2月の間に開催した家庭教育講座「子そだてマナビィ」について報告します。

第5回 大自然で深める家族の絆

～チャレンジ！森のアドベンチャー～

【日 時】令和2年10月4日(日) 10:00～15:00

【場 所】山口県十種ヶ峰青少年自然の家

【受講生】大人 24 人、子ども 21 人(親子 15 組)

4グループに分かれ、「とくさがみね 森のチャレンジコース」の施設を使い、親子で様々な活動を体験しました。

参加者アンケートより

「やったことのないことや難しかったことも、子どもが自分からチャレンジしていたので、うれしい驚きでした。」(保護者)

『ジャイアントシーソー』はみんなときょうりよくしあうのでたいへんでした。」(小学2年)

「ワイヤーをわたる遊具(『テンショントラバース』)は、ロープをもっているけど、ワイヤーがゆらゆらしてこわかったです。同じグループの子とも友だちになってうれしかったです。きのこもみつけました。ぜんぶ、すごく楽しかったです。」(小学4年)

「皆で意見を出してクリアすると充実感がありました。」(小学5年)



トラバースウォール



テンショントラバース

第6回 父親の子育てについて語り合おう

～子育てのあり方を考える～

【日 時】令和2年10月31日(土)10:00～12:00

【場 所】宮野地域交流センター

【講 師】本原 浩一 氏(山口市立陶小学校校長)

【受講生】大人 13 人



「右のグラフ上において、次のそれぞれのポジションを考えてみよう」

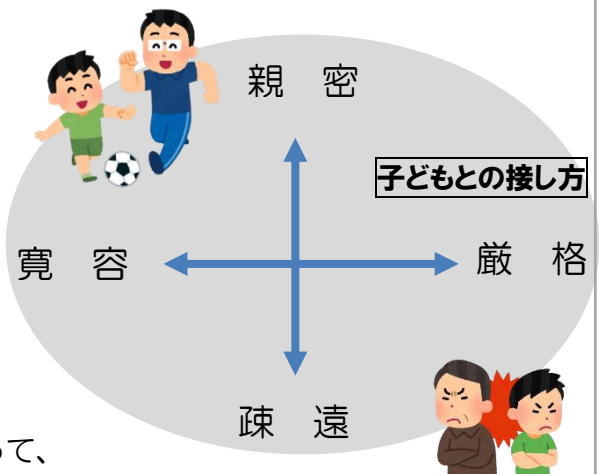
- ①今の自分は？
- ②自分の父親は？
- ③5年後の自分は？

本原先生より

- 「父親の子育て」に正解はないけれど、あこがれや理想にそって、それぞれの家族の形を大切に。
- 父と母の関係性について意識していますか？子どもに見せたいのは、争いごとのない、互いに尊重しあう姿です。

少子化の進むなか、子どもの父親でいられることの幸せについてしっかり受け止めてみませんか？

「子育てにおける父親の役割」「父親が子育てに参加すると・・・」などについてお話しいただき、「父親としてのポジションは？」をテーマにグループワークを行いました。



子どもとの距離・一緒に過ごす時間

第7回 子どもとメディアの関わり方

～子どもたちの健やかな成長を願って～

【日 時】 令和2年11月14日(土)10:00～12:00

【場 所】 湯田地域交流センター

【講 師】 瀧口 智子 氏

(子どもとメディア公認インストラクター)

【受講生】 大人 10 人



グループに分かれ、テーマごとに話し合いました。
「電子メディアの影響良い点悪い点」「子どもとの約束」

長時間の電子メディア使用は、子どもの成長に様々な影響します。

睡眠不足、視力・聴力の低下、社会性の発達、
脳へのダメージ、学力低下、ネットいじめ・・・



絵本「ママのスマホになりたい」
のびみ／作 WAVE出版

重要!

- ・リアルな生活を大切に
- ・子どもの自制心を育てる
- ・ゲーム障害（ネット依存）の恐ろしさを知ろう

まずは保護者が子どもと向き合い、使用状況をしっかり把握することから始めましょう！

**親子でよく話し合い、子ども主体で
我が家のルールをつくろう！**



第8回 知っておきたい！ わが家の金銭教育

～子どもの金銭感覚の育て方講座～

【日 時】 令和2年12月2日(水)10:00～12:00

【場 所】 仁保地域交流センター

【講 師】 中村 久枝 氏 (山口県金融広報アドバイザー)

【受講生】 大人17人



子どもにどう教えますか？

「お金とは」

「お金を使うべきシーンとは」

★子どもの年齢には関係なく、興味をもったときがそのタイミング！

★子どもに繰り返し経験させることで、「金銭感覚」を身につけていきましょう！

家庭教育講座
子そだてマナビィ

ポイント

- 🍀 ニーズ（必要）とウォンツ（欲しい）をその都度考える。
- 🍀 目標（目的）を定め、自分の考え方で実行していく習慣を身につける。（誰かと一緒になくていい）
- 🍀 親の考え方だけではなく、子どもの考え方も尊重しましょう。



※新型コロナウイルス感染症対策として、受講者の皆様には、マスク着用、検温、手指消毒、座席の間隔保持、室内の換気などにご協力いただきました。ありがとうございました。

各回の詳細は、市ウェブサイトから令和2年度 家庭教育講座「子そだてマナビィ」講座報告をご覧ください。

詳しくはこちら！

講座報告





第9回 子どもを伸ばす大人の工夫 —上手なほめ方・しかり方—

【講 師】松岡 勝彦 氏（山口大学教育学部教授）



第1回

【日 時】令和3年1月27日(水) 10:00~12:00

【場 所】平川地域交流センター

【受講生】大人28人

第2回

【日 時】令和3年2月6日(土) 10:00~12:00

【場 所】吉敷地域交流センター

【受講生】大人25人

多くの事例を交えながら、ほめ方やしかり方のコツを教えてくださいました。

「こんな時、どう声をかけますか？」

～子どもにはやく勉強してほしいとき～

～きょうだいがけんかをしているとき～

母「 ? 」

子どものやる気スイッチが入るのはどんな声かけでしょう？

ヒントは市ウェブサイト！



大人の目線

大人は、子どもの不適切な行動に目が行きがちで、できていることは見えづらいものです。

子どもからすると、この大人の評価はかなり厳しい…。

いかに 子どものできている点、ほめるところを見つけるかが大切です。
意識して探してみてください。

第10回 叱らない子育てから 上手に叱る子育てへ

once again



～アンガーマネジメントで心地よい親子関係づくり～

【日 時】令和3年2月20日(土)10:00~12:00

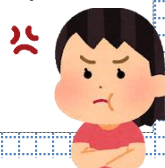
【場 所】吉敷地域交流センター

【講 師】伊藤 英利 氏(アンガーマネジメントファシリテーター)

【受講生】大人32人

(ご好評いただいた、令和2年6月24日実施の第1回講座と、ほぼ同じ内容で再度開催しました。)

子育て中はどうしてもイライラして怒ってしまいがち。反射的に怒らないために、「怒り」の感情と上手に付き合う方法を学びました。



6月開講

山口市児童文化センター

「定期講座」受講生募集！



児童文化センターでは、市内の小学生を対象に各教室の生徒を募集します！

おともだちや先生と一緒にたのしく♪学んでみませんか。



詳細は市ウェブサイト



○申し込み締切4/23(金)

詳しくは市 HP または市報4/15号をご覧ください。

○問合せ先

児童文化センター（湯田温泉 5-2-13） Tel 922-4285 ※日・月休館



英語

習字

絵画・工作

かきかた

